

### 3.5 地区の現況総括

以上で記した、上位計画・関連計画や当地区の資源、地域特性などを踏まえ、西部海岸地区の現況を整理した。

以降に当地区の現況を示す。

#### 内陸部の現況

- ・土地利用の大部分が森林であり、一部、住宅や畑(びわ畑)なども見られる。
- ・野生の日本ザルが生息している“高崎山”や国指定重要文化財である“柞原八幡宮”など豊かな自然・文化がある。
- ・内陸部の広域にわたり、宅地造成工事規制区域や農業振興地域などに指定している。特に高崎山周辺は、自然公園法による特別保護地区や第2種特別地域、保安林に指定しているなど、自然環境を保全する地域として位置づけている。

#### 沿岸部の現況

- ・高崎山自然動物園や大分マリンパレス水族館うみたまご、田ノ浦ビーチ(恋人の聖地)などの集客力の有る観光施設・レクリエーション施設が集積している。
- ・別府湾の美しい眺望を望むことができる。
- ・地区を通る国道10号は、7万(台/日)と交通量が非常に多いが、道路休憩施設が整備されていない。
- ・観光施設・レクリエーション施設が集積しているが、観光施設などの情報発信機能が不十分であるなど、本市の観光における玄関口としての機能が確保されていない。
- ・当エリアを訪れる来訪者の多くは、交通手段として自動車を利用している。
- ・時期により観光客数にばらつきがある。
- ・T-wave や桜公園など活用が不十分な施設がある。
- ・高崎山海岸地区では、「観光施設の高次化」を目標とした地区計画を定めており、建物用途や高さ、形態・意匠等を制限している。

#### 大分港周辺の現況

- ・商業施設や工業施設などが集積している。
- ・大分港(かんたん港園)は、“みなとオアシス”に登録されており、遊休化倉庫をリノベーションした商業施設・文化施設などが整備されている。
- ・みなとオアシスかんたん港園では、花火やガーデニングフェスタなど定期的なイベントを開催している。
- ・大分港には、大型フェリーが寄港しており、瀬戸内を巡るクルーズを実施している。
- ・大分港周辺では、「良好な街並みの形成」を目標とした地区計画や景観地区を定めており、建物用途や高さ、形態・意匠等を制限している。
- ・道路や鉄道、航路などあらゆる都市と繋がっているが、ゲートウェイ機能など九州の東の玄関口としての機能が確保されていない。

#### 地区全域の現況

- ・美しい景観と豊富な観光資源がある。
- ・周辺の別府市や由布市と比較して、観光地としての知名度が低い。
- ・地域資源の連携や周遊性が低い。
- ・観光に携わる事業者、団体、行政などの連携や調整が不十分である。
- ・インバウンド対応が遅れている。



▼ 西部海岸地区の現況まとめ図

